

環境市民厚生常任委員会

日 時 令和4年9月13日(火) 午前10時00分 ~
場 所 全員協議会室

1 開 議

2 事務局日程説明

3 議案審査

【こども未来部】

(1) 第1号議案 令和4年度亀岡市一般会計補正予算(第3号)

【環境先進都市推進部】

(1) 第1号議案 令和4年度亀岡市一般会計補正予算(第3号)

【市民生活部】

(1) 第1号議案 令和4年度亀岡市一般会計補正予算(第3号)

(2) 第2号議案 令和4年度亀岡市国民健康保険事業特別会計補正予算
(第1号)

(3) 第4号議案 令和4年度亀岡市後期高齢者医療事業特別会計補正予算
(第1号)

【健康福祉部】

(1) 第1号議案 令和4年度亀岡市一般会計補正予算(第3号)

(2) 第3号議案 令和4年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

4 討 論~採 決

5 陳情・要望について

6 議会だよりの掲載事項について

7 その他

令和4年9月13日
環境市民厚生常任委員会

－ 提出資料 －

(1) 保育園等のおむつ無償提供・回収事業について

こども未来部

保育園等のおむつ無償提供・回収事業

1 趣 旨

保育園、認定こども園、幼稚園及び企業主導型保育施設において、登園時の紙おむつの持参と使用済み紙おむつの持ち帰りを無くすとともに、環境への負荷に配慮する観点から、布おむつサービスを利用する園に対して利用料を助成します。

この事業により、保護者の負担軽減や衛生面の向上など次代を担う子どもを安心して産み育てることができる環境を充実させるとともに、保育士等の作業負担を軽減することで、教育・保育の質の向上を目指します。

2 事業概要

保育園等で使用する紙おむつを市から園へお届けします。合わせて使用済みおむつは、市が回収車を巡回し処理することで、保護者の紙おむつ持参と持ち帰りの負担を軽減します。

また、布おむつの配布・回収サービスの利用園については、利用料を助成します。

○対象施設 **〈私立・公立〉29施設** (対象：約750名)

保育所(園)・認定こども園	21施設
幼稚園	5施設
企業主導型保育施設	3施設

○事業開始時期 令和4年11月(予定)

3 事業費(5カ月分)

令和4年度執行見込額 17,697千円 **うち9月補正予算計上額 16,217千円**

内訳 9月補正16,217千円(民生費14,198千円・教育費2,019千円) + 6月補正1,480千円

〈紙おむつ無償提供〉 9,193千円(27施設)

〈布おむつ利用料助成〉 238千円(2施設)

〈紙おむつ処理〉 8,266千円(29施設)

・収集・運搬・処理業務(公立・民間29施設) 2,457千円

・おむつ処理機・紙おむつ収集箱(公立保育所・幼稚園9施設) 5,267千円

(内訳:9月補正3,787千円+6月補正1,480千円)

・おむつ処理機用消耗品(公立保育所・幼稚園9施設) 542千円

○財源

・**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 16,217千円**

新型コロナウイルスワクチン接種について

健康福祉部 健康増進課

1 オミクロン株対応ワクチンの接種について

オミクロン株に対応した成分が含まれる、オミクロン株対応ワクチンについては、従来ワクチンを上回る重症化予防効果や、短い期間である可能性はあるものの感染予防効果も期待されることから、9月14日以降、接種が開始されることになる予定です。

① 接種対象

初回（1・2回目）接種を終了した12歳以上の市民で、最終接種日から5か月が経過した人（2回目、3回目又は4回目接種から5か月経過した人）

② 国からのワクチン供給スケジュール

9月19日の週から開始。本市はファイザー社9,360回分が供給される予定

③ 接種開始予定時期

10月から、市内の実施医療機関へオミクロン株対応ワクチンを配布し、従来ワクチンで予約されている人の接種が終わり次第、順次、切り替えて実施予定
市の集団接種は、10月9日（日）からオミクロン株対応ワクチンで実施予定

④ 接種券の配送予定（9月中旬以降）

4回目接種券を発行済みの人：4回目接種から5か月が経過した人へ、順次、発送
その他の12歳以上：2回目、3回目接種から5か月が経過した人へ、順次、発送
※3回目、4回目の接種券を受け取ったがまだ接種していない人は、配送済みの接種券を使用してオミクロン株対応ワクチンを接種していただけます。

2 小児（5歳～11歳）の3回目接種について

時間経過とともに初回（1・2回目）接種の発症予防効果は逡減するが、追加接種（3回目）を行うことによりその効果が回復すること等が確認されたことから、9月6日以降、小児に対し3回目の接種が開始されることとなった。

① 接種対象

初回（1・2回目）接種終了から5か月が経過した5歳から11歳の市民

② 接種券の配送予定など

9月中旬から、対象者へ、順次、発送
10月8日（土）午後に、市の集団接種を予定

③ 使用するワクチン

ファイザー社の従来ワクチン

3 接種の実施期間

現在、国において令和4年度末まで延長する方向で調整中。

4 接種状況

令和4年9月6日現在	3回目	4回目
全体 (接種率)	53,683人 (67.58%)	14,442人 (18.18%)
内、60歳以上 (接種率)	28,754人 (89.53%)	12,578人 (39.17%)

※ 接種者数は、ワクチン接種記録システム (VRS) から抽出

※ 接種率は、全体接種対象者 79,442 人、60 歳以上接種対象者 32,115 人に占める割合

令和四年八月九日受理
(持参)

亀岡市市議会議長

福井英昭 殿

地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進展している中で、誰もがいくつになっても活躍できる社会の実現が求められています。

シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

企業においては、七十歳までの就業機会の確保が努力義務とされる一方で、シルバー人材センターに取組の強化が求められています。

新型コロナウイルス感染症が完全に収束しないという状況ですが、国の施策の実現や、地方自治体の施策、地域社会の期待に応えるべく、私たちは今、平成三十年度から令和六年度までの七年間を期間とする「第二次会員百万人達成計画」を踏まえ、会員拡大、とりわけ女性会員の拡大や企業退職（予定）者層への働きかけの強化の取組を強力に推進しているところであり、八十歳を超えても活躍できる就業機会の創出に努めています。

また、「自主・自立・共働・共助」という理念のもと、高齢者の安全就業を確保し、国が定めた適正就業ガイドラインを順守しつつ、

- ① 介護予防・日常生活支援総合事業、介護施設の介護の周辺業務の切り出し等による要支援高齢者に対する支援事業
 - ② 放課後児童クラブの担い手など子育て中の現役世代や子供たちへの支援事業
 - ③ 人手不足や働き方改革に取り組む地元企業に向けたシルバー派遣等の事業
 - ④ 空き家管理・墓池清掃、遊休地を活用した農園事業など地域の課題解決に資する事業
- 等を重点に取り組み、地域社会の発展と就業意欲のある高齢者の受け皿としての役割を果たしてまいりたいと考えています。

つきましては、令和五年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する補助金等の確保を要望いたします。

特に、国においては一般会計をはじめとした補助金の確保、また、都道府県・市区町村においても、厳しい財政事情の中ですが、国の補助金と同額以上の補助金の確保や、センターに対する市区町村等の公共からの事業発注の確保について、強く要望いたします。

また、令和五年十月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が施行されると、免税事業者である会員と取引関係にあるシルバー人材センターには、相当額の新たな税負担が発生します。公益法人であるシルバー人材センターは収支相償が原則であり、新たな税負担はまさに死活問題となるため、安定的な事業運営が可能となる措置を要望いたします。

令和四年八月九日

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

令和四年度定時総会



公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター



公益社団法人 全国シルバー人材センター事業協会
 公益社団法人 北海道シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 青森県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 岩手県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 宮城県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 富岡県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 秋田県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 山形県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 福島県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 茨城県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 栃木県シルバー人材センター連合会
 公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団
 公益財団法人 東京都しごと財団
 公益社団法人 神奈川県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 新潟県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 富山県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 福井県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 長野県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 岐阜県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 静岡県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 静岡県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 愛知県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 三重県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 滋賀県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 京都府シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 大阪府シルバー人材センター協議会
 公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協議会
 公益社団法人 奈良県シルバー人材センター協議会
 公益社団法人 和歌山県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 島根県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 岡山県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 広島県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 山口県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 徳島県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 香川県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 愛媛県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 高知県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 佐賀県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 長崎県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 熊本県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 大分県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 宮崎県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 鹿児島県シルバー人材センター連合会
 公益社団法人 沖縄県シルバー人材センター連合会
 会長 金子 順一
 全 長 下村 英敏
 全 長 波岸 正
 全 長 前川 公二
 全 長 白川 由利枝
 全 長 松岡 昇
 全 長 鹿岡 康
 全 長 川浪 廣次
 全 長 綿坂 剛
 理事長 高田 哲夫
 理事長 片野 清明
 副理事長 堀光 美知子
 全 長 大井 幸登
 理事長 中澤 基行
 理事長 山中 森勝
 全 長 鈴木 幹夫
 全 長 若林 孝
 全 長 松島 十三男
 全 長 林 充男
 全 長 吉田 修二
 全 長 酒井 登
 全 長 渡野 壽
 全 長 故野 多喜雄
 全 長 酒井 通弘
 全 長 中瀬 敬
 全 長 平田 正男
 全 長 松本 建次
 全 長 松山 繁樹
 全 長 高島 隆三郎
 全 長 宇田 秀子
 全 長 中田 元成
 全 長 村一 男
 全 長 糸賀 耕一
 全 長 徳木 修
 全 長 建部 賢次
 全 長 大田 良光
 全 長 渡辺 正樹
 全 長 佐保 光甫
 理事長 大塚 岩男
 全 長 古味 勉
 全 長 内田 敏夫
 全 長 山口 雅久
 全 長 菅木 信一郎
 全 長 西島 壽藏
 全 長 江藤 郁
 全 長 清原 剛幸
 全 長 神元 幸志
 全 長 鈴木 隆一